

瑞浪市景観計画策定委員会 第2回 委員会(現地視察)

議 事 要 旨

日時：平成26年5月28日（水） 9:30～19:30

場所：現地視察 瑞浪市内各所
意見交換 大黒屋

出席者

松本直司（名古屋工業大学大学院工学研究科 教授）
道尾淳子（アトリエサノ＋コンテ 元愛知淑徳大学メディアプロデュース学部 助教）
宗宮裕雄（岐阜県多治見土木事務所 所長）
山本敦司（岐阜県東濃建築事務所 所長）
梶田正紀（岐阜県建築士事務所協会 会員）
伊藤光昭（瑞浪商工会議所 専務理事）
永井恒（瑞浪市農業委員会 会長）
安部利美（瑞浪市文化財審議会 会長）
小栗昭治（造園緑化協会陶都支部瑞浪分区 分区長）
大山理晴（瑞浪市連合自治会 役員）
安藤則通（公募市民）
鈴木奈津子（公募市民）



桜堂薬師にて

■視察工程

時 間	場 所
9時15分 集合	瑞浪市役所 1階ロビー
9時30分 出発	
9時50分～10時25分	瑞浪地域 さくらさくらの散歩道、土岐川（酒蔵）
10時45分～11時30分	陶 地 域 浅間山、狛犬、茶壺、与左衛門、うさぎ岩、旧伊藤家、おばあちゃん市、小里川ダム、小里城大橋
11時30分～13時00分	稲津地域 小里城跡、稲荷神社
昼 食	稲津コミュニティにて昼食弁当 景観計画（素案）の概要説明
13時15分～13時30分	明世地域 市民公園、化石博物館、市民体育館、サイエンスワールド
13時40分～14時10分	土岐地域 きなあた瑞浪、桜堂薬師
14時15分～14時35分	釜戸地域 竜吟峡
15時00分～16時00分	大湫地域 ヒトツバタゴ（神田）、大湫宿、琵琶峠
16時30分～17時15分	日吉地域 天狗塚、弁財天の池、奥之田一里塚、峠の茶屋跡、細久手脇本陣跡、大黒屋
意見交換会	大黒屋にて意見交換会

■景観計画（素案）の概要説明

- ・瑞浪市景観計画の目次構成（案）について説明した。
- ・第2章の景観計画区域の設定について、前回委員会での決定事項（市全域を景観計画区域とすること）を確認した。
- ・第3章の景観形成の方針について、現時点での事務局（案）を提示し、本日の視察も踏まえて、次回委員会で意見を頂きたい旨を説明した。
- ・今後のスケジュール（案）を提示し、本年度は全4回（うち、1回は本日の視察）の委員会を開催することについて了承を得た。

■視察を終えての感想

○良かった場所・お気に入りの場所

- ①さくらさくらの散歩道・土岐川周辺
- ②土岐町益見地区（猿子村まつり）
- ③煙突のある風景
- ④酒蔵、屏風山
- ⑤狛犬、茶つば、与左衛門（登り窯）、浅間山と田園風景
- ⑥市民公園一带
- ⑦桜堂薬師（灯籠）
- ⑧中山道沿線（大湫宿のコミュニティセンター～高札場、琵琶峠、神明神社の大杉）
（細久手はこれから魅力を高めたい）
（弁財天の池、一里塚）
- ⑨宗昌寺からの眺め
- ⑩観音堂から見た田園風景
- ⑪陶や稲津の里山、田園風景・農村風景
- ⑫竜吟峡の散策路から滝まで
- ⑬小里城跡、小里城大橋、小里川ダム
- ⑭瑞浪駅から市役所までの都市景観
- ⑮日吉の丘陵部における自然景観

○景観を良くするための意見・提案

- ①維持管理（ゴミや雑草の処理、清掃）がすべて。
- ②土岐川への休憩施設やトイレの設置、さくらさくらの散歩道の延長。
- ③各地区のまちづくり推進協議会、団体、ボランティアと協力した対策。景観に関するタウンミーティングの実施。
- ④地元が熱心なところを大事にし、地元のリーダーを育む。
- ⑤点在している資源をつなげる。（散策ルートの設定・整備）
- ⑥大湫・細久手の電柱や電線は地中化又は裏方へ。
- ⑦宿場街道は現存のまま残し、交通網（バイパス）の整備を図る。
- ⑧ゴミを捨てないような方法。地域での清掃活動、環境美化の継続的な取り組み。
- ⑨駅前商店街の景観コントロール。
- ⑩陶磁器の活用、酒蔵や旧伊藤家等の景観の要となる建築物の保全と活用。
- ⑪土岐川沿いのエノキ、大湫の大杉などの樹木の保存制度の創設。
- ⑫細久手宿での歴史的建造物の線的な広がりを感じる整備（サイン、ゲート等）。
- ⑬大湫宿で管理の行き届かない建築物の保全（伝統的建造物群保存地区の指定等）。
- ⑭古いものだけでなく新しいもので地域形成上重要なものは組み込んで保全。
- ⑮地域住民の自主的・継続的な活動につながるよう、地域住民の提案を基本に計画し、行政は積極的な支援を行えば定着するようになる。
- ⑯屋外広告物の指導（信号や交通標識との類似色は使わない、サイズや素材の制限）。
- ⑰地域学習プログラムの確立（子供の学習機会から大人の意識への働きかけ）。
- ⑱市内の景観にまつわる物語の整理ができると良い。物語を語ることができる人。
- ⑲来訪者に対する景観のアピール（地産地消のような地域情報）。
- ⑳関連部局（まちづくり、商工、教育委員会、土木等）との連携強化。人材の育成。
- ㉑景観要素を「良好なもの」「悪いもの」「不足しているもの」に区分して向上を図る。
- ㉒公共工事における計画段階からの議論の場。

○その他（景観計画素案に対する意見など）

- ①市の素案で充分である。あとは施行を考える。
- ②中山道沿道を景観形成重点地区にできると良い。（大湫・細久手をその拠点とする）
- ③地元が熱心な地域は重点地区候補になる。（地元リーダーや活動の有無がポイント）
- ④景観維持のための資金がない。適用できる補助金事業を抽出してみては。
- ⑤規制だけでは環境条例になる。
- ⑥瑞浪地域では「土岐川沿いの樹木の保存」も方針として必要。
- ⑦土岐地域の駅周辺では中心商業地としての景観を形成。
- ⑧大湫宿では大杉の保存も示すべき。
- ⑨用語や文法等の整理が必要。
- ⑩物語を語る「語り部」を守り、育て、賞賛するシステムづくりが第一。
- ⑪地区分けの前に景観軸（木曾川含む）のような線的なつながりを考えても良い。